

# 新チャレンジ章「STEM 博士」

## 実施の手引き

### I. 新チャレンジ章

#### ・はじめに

---

カブスカウトの選択課目であるチャレンジ章は、「社会生活」、「自然と野外活動」など 5 つの分野で全 40 種類が設定されています。カブ隊に入隊、上進した後、活動や生活の中で進級課目に取り組みつつ、自分の興味があるものや得意なものから自由に挑戦することができるのが特徴です。隊の指導者やご家族一緒になって取り組むことで、生活の幅を広げ、個性を伸ばし、自信を深めることにつながります。

そのチャレンジ章に、企業とのタイアップによるバッジが数量限定で加わることになりました。これは、通常のチャレンジ章課目と同様に、家庭や組、隊での活動において細目に挑戦し、サインしてもらうことでバッジを制服やタスキに着用できます。この新チャレンジ章は、カブブック「チャレンジ章」には載っていません。ワークブックや本紙「実施の手引き」に、取得するための細目や活動のヒントを掲載していきます。

#### ・STEM 博士とは

---

「すべての子どもたちに STEM 教育に親しみ、学びを深めてほしい」というセールスフォース社の願いと協力により、スカウト流の STEM 教育が誕生しました。



STEM は、さまざまな技術や発明につながる大切な要素です。このプログラムでは、自然や野外活動の中で、そんな科学の不思議や発見を探し出していくものです。

毎日の生活に役立つものや人を助けるものなど、科学によって得られる恩恵は多くあります。色々なものを発見したり、なぜ、そうなるのか考えてみたりしながら、楽しく活動しましょう。

## Ⅱ. プログラムの導入

### ・年間および月間プログラムへ

プログラムとして実施するため、新チャレンジ章の取得を年間プログラムへ反映、また月間プログラムへ落とし込む作業が必要になります。

類似するテーマの隊活動または組での活動として、また特別隊集会としての取り組みもひとつの方法ですが、家庭で保護者と一緒になって課題（細目）に取り組むことも可能です。プログラムの取り組み方法は、隊として決めてください。

### ・ワークブックの活用方法

STEM 博士では、STEM という名称や意味を知り、自然の中の不思議や様々な現象について知るきっかけを作ります。

理科や算数の分野、そして自然の中には数多くの不思議があります。義務教育・高等教育と学んでいくにあたり、疑問や仮説を立てるということは、スカウトの成長に大いに役に立つものとなります。

このプログラムでは、様々な実験を通して自然界の不思議について学び、そこから得た疑問を新たな活動につなげることを目標としています。



**参考：Web サイト「科学実験データベース」** <http://proto-ex.com/search/d-index.html>

季節、場所、対象などを組み合わせることで自然の中での実験を検索できます。

### 【プログラムと細目の関連性】

#### 1. STEM (ステム) の意味を知る。

4つの言葉の頭文字がこのSTEMです。なぜ注目されているのでしょうか。

#### 2. 隊や組の仲間と「科学実験」活動に参加して、記録する。

#### 3. 自然の中で不思議に思うこと、興味のあることを考えてみる。

⇒自然の不思議に関する科学実験を行い、楽しみながら気づきや新たな発見をすることで、疑問に思うこと、挑戦することの大切さを知ってください。

#### 4. (3)をテーマとした実験や活動を行い、その成果をみんなの前で説明する。

この気づきが未来の大きな発明につながる！そのワクワクを楽しみましょう。

## ・ワークブックへのサイン

細目やプログラムに挑戦したら、ワークブックへサインをします。組や隊の集会であれば隊指導者やデンリーダーが、自宅で細目に挑戦したら、保護者の方が日付と名前を記入します。

一つひとつの細目がスカウトのスキルアップにつながっていますので、頑張りをほめてあげてください。



## ・組集会での取り組み

意味を調べたり、不思議を見つけたりと、プログラムの一部は組集会でも実施することができます。まとめの隊集会での実験へうまくつなげてください。

## ・家庭での取り組み

携帯電話やパソコン、最近では人工知能といった、発見・発明が次々と誕生しています。家の中でも役立つ技術は無いか、不思議はないか調べてみましょう。

# Ⅲ. バッジの授与

## ・授与のタイミング

スカウトがすべての細目を履修し、「STEM 博士宣言」をワークブックに書き入れたら、隊長の承認によりチャレンジは完了します。

バッジは、手元にあるからとその場で配布せず、通常のチャレンジ章と同じく、隊活動や団行事でセレモニーや各種記章授与式など、他部門を含めたスカウトや保護者の方が多くいる場において、取り組みを称えて授与してあげてください。

授与するタイミングにおいて、この新チャレンジ章に挑戦することをひとつのきっかけとして、他のチャレンジ章やひとつ上の進級を目指して、家庭や組・隊集会での活動につなげられるよう、隊指導者からの声かけをお願いします。

## ・制服への着用

---

企業協力によりバッジ作成をしているため、他とカラーデザインが異なりますが、これはチャレンジ章の一つです。初めて取得するスカウトは制服右袖の組別章の下に、5個以上取得しているスカウトはタスキに着用することができます。他のバッジと同様に、ひとつの取り組みの成果として着用してください。

STEM 博士を着用するという事は、多くのことに興味を持つことのできるスカウトの証です。科学実験に限らず、新しいことに挑戦するために仮説をたてて、キャンプに役立つ調理方法に挑戦するなど、常に考え行動に移す機会としてください。

## ・使ったワークブックは

---

STEM 博士宣言を書き入れたワークブックは、スカウトの取り組みを示す大切な記録です。ボーイスカウトへと上進してからも自分自身で書いた「宣言」を振り返るためにも、カブブック「チャレンジ章」に貼ったり、挟み込んだりと大切に保管するようにご指導ください。

## IV. 記録と報告

### ・活動の記録と日本連盟への報告

---

活動の様子を、ぜひ写真を含めてお知らせください。スマートフォンに付属するカメラ機能の画素数で十分です。Web サイトに記載する活動報告の案内に従い、以下の項目と活動の様子が分かる写真を添えて、日本連盟までご報告ください。

**注意：**団内で撮影した写真は、日本連盟および協力企業がプログラム開発および広報として利用する場合がありますので、団内とご家族の許諾確認をお願いします。

新チャレンジ章は、企業・団体とのタイアップによるものであり、皆様からいただいた報告内容が次年度へのつながりや、新たなテーマへとつながっていきます。

#### 【報告いただく内容】

<必須事項> 所属（県連盟・団） 報告者氏名 実施日時 概要・展開  
バッジ取得スカウト数 スカウト宣言

<任意事項> 展開方法 スカウトの気づきや声 指導者の気づきやご意見  
活動時の写真（ご家族の許諾確認含む）